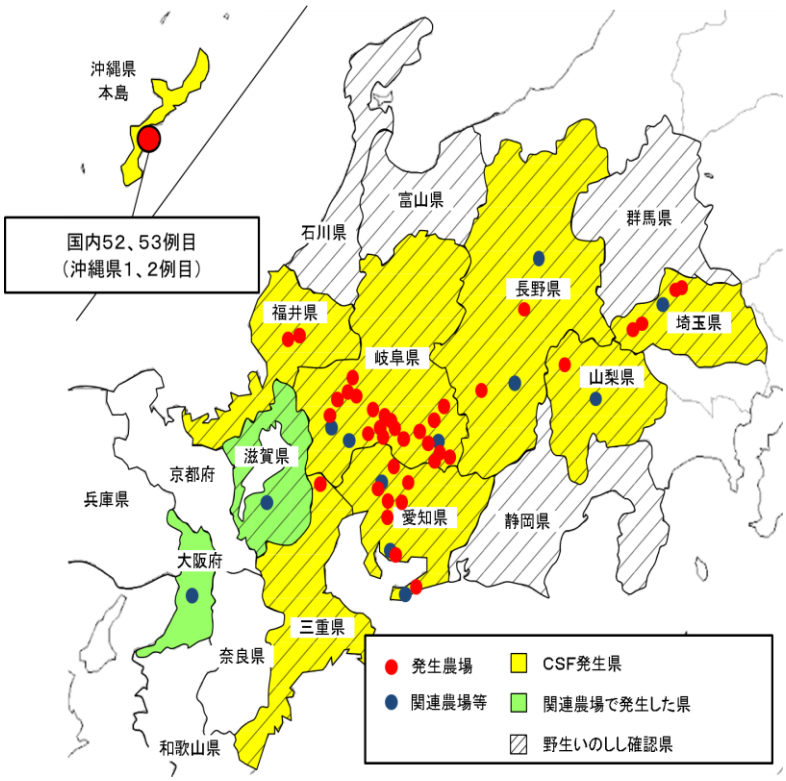
沖縄県の養豚場でCSF（豚コレラ）が発生！（国内52、53例目）

1月8日、沖縄県うるま市の養豚場においてＣＳＦ（豚コレラ）の患畜、疑似患畜が立て続けに確認されました。沖縄県では初めての発生です。

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策を確実に実施してください。



CSF発生県：埼玉、山梨、長野、岐阜、愛知、福井、三重、沖縄
関連農場発生県：大阪、滋賀

【52例目の概要】

◆発生農場

沖縄県うるま市　393頭 飼養
（関連農場：同市　432頭飼養）

◆経過

- 1月６日、飼養豚が死亡しているとの通報を受け沖縄県が立入検査を実施。
- 家畜保健衛生所の検査でＣＳＦの疑いがあり、農研機構動物衛生研究部門で遺伝子解析したところ、1月8日に本病の患畜と判明。

【５３例目の概要】

◆発生農場

沖縄県うるま市　921頭 飼養

◆経過

- 1月７日、52例目の隣接農場について沖縄県が立入検査を実施。
- 家畜保健衛生所で精密検査を実施し、1月8日に本病の疑似患畜と判明。

▶毎日の健康観察と異常家畜（耳・下腹部・四肢の紫斑、結膜炎、複数頭の40℃以上の発熱、便秘又は下痢、食欲不振など）の早期発見・早期通報をお願いします。

▶豚コレラの発生を防止するためには、人や物を始め野生動物などによって飼育環境にウイルスが持ち込まれないことが重要です。

- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒の徹底
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴の着用
- ☑ いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料の加熱給与
  （７０℃以上３０分以上または８０℃以上３分以上）

京都府山城家畜保健衛生所　TEL：0774-52-2040（休日・夜間は転送されます。）
FAX：0774-52-2030